

公報

Fyrquel® EHC Plus - 利点

主要な用語

現代の次世代リン酸トリアリール エステル

より持続性のある設計を持つ電気-油圧式制御作動油

化学名:低リン酸トリフェニルのブチル化リン酸トリフェニール エステル

トリキシレニル リン酸無しの現代的なリン酸エステル設計

概要

Fyrquel® EHC Plus は第3世代自己消火性の強化されたリン酸エステルの電気-油圧式制御作動油で、蒸気タービンの用途用に設計されています。これは直接初期世代のリン酸エステル液に置き換わるものです。非リン酸エステル液から変更される場合には、技術支援のためにFyrquel®の担当者にご連絡ください。これは新しいリン酸エステル系のストックを使って作られたもので、より安定性のある製品設計を特徴としています。それはOEM承認済みで前世代のリン酸エステル液体と互換性があります。

より持続性のある製品設計

- より環境に優しい - 簡単に生物分解し、すべてのFyrquel® EHシリーズの液体同様、Fyr-Back®の廃棄物代替プログラムを使うことでリサイクル可能です。標準的な油の処分を必要としません。現在、すべての地域で利用可能というわけではありません。
- 低いコストサプライ - より良い価格設定で、同じ高い使用価値を持つ自己消火性の特性があります。
- より作業員に優しいMSDSと製品ラベリング - 特定のGHS危険識別を必要としません。トリキシレニル リン酸無しの現代的なベースストックから製造されています。GHS下で分類されておらず、輸送に関する規制もありません。
- より長い耐用年数
- 熱的により安定しているため、液体劣化により良い抵抗があります。
- より良い性能 - 改良された空気エントレインメント保護
- より良い品質 - 少ない塩素含有率しか必要としないで、より低くてより良い液体の酸性、バルブを保護するための最高の清浄度設計、そしてより良い抵抗性の仕様を特徴とします。
- より安全な供給 - 利用可能な中でより現代的なベースストックを使用することで、サプライチェーンが保護されます。

用途

Fyrquel® EHシリーズの液体はISO 46粘性等級のリン酸トリアリール エステル タイプの自己消火性の油圧液体で、蒸気タービンの電気-油圧式制御システムの用途用に設計されています。

www.fyrquel.comを訪れて、リン酸エステル タイプの作動液が持つ自己消火性の火災安全性の利点を示す短いデモビデオを参照してください。リン酸エステルの液が持つ自己消火性のユニークな特性が、リン酸エステルの液体のみが蒸気タービンOEMSによる使用に指定されていることの主たる理由です。「発電所の防火対策用のNFPA 850 推奨慣行」の最新版が2010年1月に発行されました。これは3.3.14.1定義: 難燃性作動油を含んでいます。「点火しにくく、低い燃焼熱のために燃焼を広げることがないとしてリストされた油圧液体または潤滑油。」リン酸エステル液はこのNFPA 850の定義を満たしますが、他のタイプの液体は満たしません。Fyrquel®作動油は、石油系の作動液やその他の非自己消火性の作動油を使っている時に、噴霧火災、断熱材火災、およびプール状の火災のリスクを減らします。この作動油は、バルブの浸食を防ぐよう最適にデザインされており、どの金属に対しても腐食を起こすことがなく、ポンプ寿命を伸ばすための優れた潤滑特性を持っています。そして、液体の耐用年数が長く、使用中のシアリング (劣化) 無しで粘性を維持し、優れた排気性と低い塩素成分を持っています。その他のタイプの作動油は2~3年の限定的な耐用年数を持っています。リン酸エステル体の利点は、粘度が使用期間中安定しているために、液体の耐用年数が長くなるということです。

以前の製品と完全に混合可能で交換可能

次世代のFyrquel® EHC Plusに切り替えることは、貯蔵器を満タンにするのと同じくらい簡単なことです。具体的な推奨については、Fyrquel®の担当者にご連絡ください。